

外国語科学習指導案

府中町立府中緑ヶ丘中学校

1 学年 第2学年3組（男子20名、女子16名 合計36名）

2 単元名 Program7 If You Wish to See a Change
SUNSHINE ENGLISH COURSE 2 （開隆堂）

3 単元について

○単元観

本単元は、子供の頃に「地球環境サミット」でスピーチを行い、今でも環境保護活動に取り組んでいるセバン・スズキさんが取り上げられており、環境問題や国際理解、貧困問題等について彼女が自身の考えや解決策について主張するという内容である。様々な問題に対して具体例を挙げたり、引用したりしながら自分の意見や改善策について話しているため、for example, や She also said, “We are …”, If you wish … などの表現が用いられている。言語材料としては、動名詞が扱われており、より詳しく行動について伝える方法について学ぶのに適した教材である。また、〈主語+be 動詞以外の動詞+形容詞〉や〈主語+動詞+間接目的語+名詞/代名詞〉が入った文も扱われており、幅広い表現を用いて、様子を伝えたり、自分の考えをより具体的に伝えたりする方法について学ぶことができる。

本単元は、中学校学習指導要領 1 目標（3）話すこと[やり取り]イ「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。」を受けて設定したものである。また、本校の「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標「話すこと[やり取り]」では、「身の回りのことや自分のことについて、相手に質問をしたり、基礎的な表現を用いて会話を続けることができる」としている。

したがって、本単元を通して、身近な環境に関することを話題にして、具体的な例を挙げたり、条件を示したり引用したりして、互いの考えや意見を述べ合う力を養っていく。

○生徒観

本学級の生徒は、10月実施のアンケートにおいて、「自分の考えを伝えようと努力している」という問いに対して、94.3%の生徒が肯定的評価をしている。また、「以前より自分の考えをくわしく伝えられるようになった」という問いに対しては、90.3%の生徒が肯定的評価をしている。英語でコミュニケーションをとることにに対して、意欲的に取り組む生徒が多く、より充実したコミュニケーションを図ろうとしていることが分かる。

これまで、条件を示して ALT におすすめの場所を伝えたり、その場所がいいと思う理由を示して、自分の考えを伝えたりするという言語活動を行った。生徒は、If Claire likes outdoors, ~ is better. や If it's rainy, you should go to ~. などを用いて、新しい視点を加え、さらに詳しく自分の考えを伝えることができるようになった。また、教科書の本文を読んで、その内容について感想や考えをやり取りするという言語活動では、I think she is kind, because she loves nature. などのように、根拠を示してそう思う理由を伝えることができるようになった。これまで学習してきたことを、この言語活動にもつなげ、言いたいことを整理してより詳しく述べ合う力を身に付けさせたい。

本単元で扱う言語材料のうち、動名詞については、小学校段階で思い出について互いの考えや気持

ちを述べ合う言語活動において、音声を中心に表現として学習しているため、本単元でしっかりと活用を通して定着させたい。〈主語+be 動詞以外の動詞+形容詞〉の文構造に関しては、これまでのやり取りの中で、” Sounds fun.” や” It looks fun.” など、音声では慣れ親しんでいる表現であるが、十分な定着までは至っていない。〈主語+動詞+間接目的語+名詞/代名詞〉の文構造の学習については新出である。

また、文構造を意識して、正確な英文を用いて表現する力については、十分定着しているとは言いきれない。「あなたは何をするために学校に来ますか。そう思う理由も入れて、I come to school to ～に続けて3文以上の英文で答えなさい。」という問いでテストを実施した。「話すこと」と「書くこと」の違いはあるが、(3)の結果から、正しい文法を用いて伝えるということが意識できていない生徒が4割近くいることが分かる。また、無回答率も高く、正確さに対する意識や英語で表現することに対する意欲に大きな差があることも分かる。

○3文以上で書く問題の正答率

		正答率	誤答率	無回答率
1	3文以上で書いている。	65.7%	22.9%	11.4%
2	不定詞を使って正しい文法で書いている。	57.1%	31.4%	11.4%
3	正しい文構造で理由を書いている。	48.6%	37.1%	14.3%

○指導観

本単元では、「環境を守るために、自分達ができることを述べ合おう」という言語活動を行う。本単元の言語活動では、環境を守るために今自分が実践していることや、これから出来そうなことについて、例をあげたり、条件を示したり共感した言葉等を引用したりしながら、互いの考えや意見を交流していくための指導を行う。そのために、教科書教材を活用し、セバンさんの主張を通して、彼女が伝えたいメッセージを読み取ったり、これまで他教科で学習してきた知識を使って自分の考えを持ち、友達との意見交流を通して自分の考えを深めていく指導を行っていく。また、ペアを変え、多くの人と交流する機会を設定し、繰り返し活用することで、言語材料や表現の定着を図る。

評価については、単元末に別課題によるパフォーマンステストを実施する。パフォーマンステストでは、ALTが出身国の現状とその国の抱える問題を伝え、そのことに関して考え、解決策を述べ合ったりするという課題を設定している。

指導に当たっては、「話すこと[やり取り]」の領域において指導を行うため、次のような流れで指導を行う。

- ・単元の始めに、本時で行う言語活動について生徒と共有し、他教科で学習した内容について触れたり家庭での実践について交流したりして、本単元で実施していくやり取りの目的をもたせる。
- ・生徒の中からやり取りのモデルとなるペアを手本として示し、その良さから学び、自身のやり取りの改善を図らせる。
- ・言語活動においては、積極的に問答したり意見を述べ合ったりさせるために、生徒の発話の正確さにとらわれ過ぎず、生徒の発話の内容を大切にしながら指導を行う。
- ・評価については、別課題によるパフォーマンステストを単元末に実施する。フィリピンの環境問題について、日本の環境問題と比較しながら、解決するためにどのようなことができるのか、ALTと意

見を交流できるか判断する。

4 単元の目標

- ・間違いを恐れず、積極的に問答したり意見を述べ合ったりする。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ・話題について、具体例を挙げたり、条件を示したり、引用したりしながら互いの意見や考えを述べる。(外国語表現の能力)
- ・動名詞の用法を理解する。(言語や文化についての知識・理解)
- ・〈主語+be 動詞以外の動詞+形容詞〉の用法を理解する。(言語や文化についての知識・理解)
- ・〈主語+動詞+間接目的語+名詞/代名詞〉の用法を理解する。(言語や文化についての知識・理解)

5 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
間違いを恐れず、積極的に問答したり意見を述べ合ったりしようとしている。	話題について、具体例を挙げたり、条件を示したり、引用したりしながら互いの意見や考えを述べることができる。	/	① 動名詞の用法を理解している。 ② 〈主語+be 動詞以外の動詞+形容詞〉の用法を理解している。 ③ 〈主語+動詞+間接目的語+名詞/代名詞〉の用法を理解している。

6 単元ゴール

コミュニケーションの目的・場面・状況	セバンさんの言葉やこれまで行ってきた環境に関する学習を基に、身近な環境問題について自分達に何ができるか、互いの考えや意見を述べ合う。
目指す発話例	B: If you wish the clean earth, what actions do you think are useful? A: I think using eco bags is useful. It' s easy. Everyone can do it. Even small kids can do it. B: I think that' s a nice idea. A: Severn says, "We are all part of a big family." We should think more about the environment problems as a member of a family. B: I think so too. What kind of problems do we have in Japan? A: For example, garbage problems. We have too much plastic garbage. B: Yes. What can we do to reduce the garbage? A: The stores don' t give us plastic bags for free so I always bring an Eco bag with me when I go shopping. I think this is a nice idea. We can reduce plastic bags garbage.

	<p>B: That's true.</p> <p>A: Do you know the 3R? It means "Reuse, Recycle and Reduce". We should know more about the environment, and take actions to save the earth. I hope the earth will become cleaner.</p>
--	---

7 小学校外国語を踏まえた指導の工夫

【小学校における指導方法・教材を踏まえた（活用した）指導の具体】		
(1) 関連する言語材料		
We Can 1, 2	We Can 1,2 →中学校	中学校
<u>New Horizon Elementary 2 Unit3</u> Italy is a nice country. You can see the Colosseum. You can eat pizza. It's delicious.	事実や感想を述べる。 ↓ 事実を述べ、それに対して相手に意見を求める。	<u>Program 7</u> Now we must be the change and give the earth a future. What can we do?

8 単元計画

時	目標 (◆)・主なやり取り等	評価規準・評価方法
1	◆「身近な環境問題について考え、自分のできることを述べ合う」という言語活動の見通しを持つことができる。 ・これまで他教科も含めて学習してきた環境に関する内容に触れたり、身近な問題を提起したりして、言語活動の目的を具体的に持つ。	
2	◆セバンさんのスピーチを読み、感想を述べ合うことができる。 ・理由をつけて、感想を述べる。 ・教科書の本文から、動名詞の用法を理解する。 B: What do you think about Severn? A: I think she is smart because she had a great speech in the Earth Summit when she was 12. B: Yes, she worries about the Earth. A: I want to keep the earth clean.	エー①(ワークシート)
3	◆セバンさんのスピーチや語りの概要を捉え、考えたことについて述べ合うことができる。 ・言葉を引用しながら、感想や考えを伝え合う。 B: What do you think about Severn's idea? A: I think it's amazing because she really takes good care of the environment. B: I think so too. A: She said "We are all part of a big family." I think it's an important idea. We should stop breaking the environment.	ア (活動の観察) イ (後日パフォーマンステスト)

4 本 時	<p>◆環境問題について、自分自身に取り組めることを述べ合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境を守るために大切だと思うことを述べ合う。 ・実際に自分がしている取り組みや、知っている取り組みについて、例を示しながら述べ合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>B: What can we do to stop breaking the environment? A: I think it's important to use an eco bag. I always bring my eco bag when I go shopping. Do you bring an eco bag? B: Yes. I think it's an easy action for us. Even small children can do that. A: I think so too. We can reduce the plastic garbage. Do you have any other ideas? B: I use eco mark notebooks. A: Oh, nice idea. I'll try that too.</p> </div>	ア (活動の観察) イ (後日パフォー マンステスト)
5	<p>◆様子を伝えたり、だれかに何かを与えるという表現について理解できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の本文を通して、より詳しく状況を伝える表現について理解する。 	エー②③(ワーク シート)
6	<p>◆セバンさんの訴えを読んで感じたことを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちができることについて伝え合う。 ・教科書の本文から、〈主語＋動詞＋間接目的語＋名詞/代名詞〉の文構造を理解する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>B: What can we do to give the earth a future? A: We have many ways. For example, we should save poor children. I want to help them. B: Do you have any ideas? A: Yes. We learned about the NPO last year. I'll collect bottle caps and give the supermarket them. B: That's a nice idea.</p> </div>	イ (活動の観察)
7	<p>◆身の回りの環境問題について、事実や解決策を自分の考えや意見とともに述べ合うことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにどのような環境問題があるか、延べ合う。 ・どうするために、実際にどのようなことができるのか、条件を示しながら述べ合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>B: If you wish the clean earth, what actions do you think are useful? A: I think using eco bags is useful. It's easy. Everyone can do it. Even small kids can do it. B: I think that's a nice idea. A: Severn says, "We are all part of a big family." We should think more about the environment problems as a member of a family. B: I think so too. What kind of problems do we have in Japan? A: For example, garbage problems. We have too much plastic garbage. B: Yes. What can we do to reduce the garbage? A: The stores don't give us plastic bags for free so I always bring an Eco</p> </div>	ア (活動の観察) イ (後日パフォー マンステスト))

	<p>bag with me when I go shopping. I think this is a nice idea. We can reduce plastic bags garbage.</p> <p>B: That's true.</p> <p>A: Do you know the 3R? It means "Reuse, Recycle and Reduce". We should know more about the environment, and take actions to save the earth. I hope the Earth will become cleaner.</p>	
後 日	<p>◆パフォーマンステスト</p> <p>・フィリピンの環境に関する写真を基に、その問題を解決するためにどのようなことができると思うか、自分の考えを述べることができる。</p>	イ(インタビューテスト)

9 本時の展開

(1) 本時の目標

環境を守るために、自分が取り組んでいることを述べ合うことができる。

(2) 本時の評価規準

間違いを恐れず、積極的に問答したり意見を述べ合ったりしようとしている。

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

(3) 本時の学習展開

時	学習活動	指導上の留意事項	評価規準, 方法
10	<p>○warm-up</p> <p>・曜日, 日付, 天気, 時間を生徒同士で応答する。</p> <p>○Small Talk</p> <p>What do you think about Severn's idea?</p> <p>A: I think her idea is great.</p> <p>B: I think so too.</p> <p>A: She loves nature. I think it's important.</p> <p>B: Yes. She thinks about the environment.</p> <p>A: She said, "We are all part of a big family". We should take good care of the earth more.</p>	<p>・テーマに沿って, 情報を付け加えたり, 問答したりしながらやり取りを続けさせる。</p>	
35	<p>○学習課題の把握</p> <p>Today's Goal: 環境を守るために, 自分が取り組んでいることについて述べ合う。</p> <p>・本時のねらいを確認する。</p>		

	<p>○復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで学習してきたことを想起する。 <p>○Activity</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境破壊を止めるために大切だと思うことを述べ合う。 ・環境を守るために、実際に自分がしていることを述べ合う。 ・取り組んでいることが、どのようなことにつながるのかも合わせて述べ合う。 ・相手の意見に対して、感想を付け加えたり自分の考えをつけ足したりしながら話を広げる。 ・ペアを変えて、学習したことを取り入れながら述べ合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのようなことについて述べ合ってきたか、キーワードで示す。 ・Small Talk で話した内容も活用できるように確認する。 ・モデルのペアのやり取りから、具体的な例を挙げながら述べ合う方法に気付かせる。 ・やり取りを通して、どのような取り組みをしているか例を示しながら、述べ合う。 ・モデルを提示することで、相手の発話に応じた質問をすることが難しい生徒への支援とする。 	<p>ア（活動の観察） イ（後日パフォーマンステスト）</p>
5	<p>○まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカードに記入する。 		

10 板書計画

<p>sunny, Thursday, November 19th, Today' s Goal</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>環境を守るために、自分がしていることについて述べ合う。</p> </div>	<p>What actions do you think are useful ?</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自分の考え</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">理由</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">具体例</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">あなたは…?</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">引用</div> </div> <p>What do you do for the environment ?</p> <p>Do you do anything?</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自分がしていること</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">しようと思うこと</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">提案</div> </div>	<p>単元目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 2 3 4
--	--	--

11 パフォーマンステスト評価規準

評価の観点	外国語表現の能力
A	<p>フィリピンの環境に関する写真を基に、これまで使ってきた表現を用いながら、問題を解決するためにどのようなことができると思うか、具体例を挙げたり、言葉を引用したり、自分の意見の裏付けとなる情報を加えたりしながら ALT と考えを述べ合うことができる。</p> <p>B: In Philippines, we use wooden spoons and forks in some restaurants. We have stainless straws too. How about in Japan?</p> <p>A: We use wooden chopsticks, but I' ve never seen stainless straws. We usually use plastic straws. I think it' s very nice, because we can reduce plastic garbage. Using reusable things is very useful.</p> <p>B: Yes. Do you have any other ideas to reduce plastic garbage?</p> <p>A: Yes. I have some ideas. For example, an Eco bag. In Japan, many stores stop giving plastic bags.</p> <p>B: I think that' s a great idea. I bring my eco bag too.</p> <p>A: Oh, do you? Severn said, "We are a part of a big family." We should take care of our house more.</p> <p>B: I agree with you.</p>
B	<p>フィリピンの環境に関する写真を基に、問題を解決するためにどのようなことができるか、具体例を挙げたり、言葉を引用したりしながら、ALT と考えを述べ合うことができる。</p> <p>B: In Philippines, we use wooden spoons and forks in some restaurants. We have stainless straws too. How about in Japan?</p> <p>A: We don' t have stainless straws. I think it' s nice, because we can reduce plastic garbage.</p> <p>B: Yes. Do you have any other ideas to reduce plastic garbage?</p> <p>A: Yes. I bring my eco bag when I go shopping.</p> <p>B: I think that' s a great idea. I bring it too.</p> <p>A: We should take care of our house more.</p> <p>B: I agree with you.</p>
C	<p>自分の考えを述べることができない。</p>